

# 岡山県感染症週報 2018年 第3週 (1月15日～1月21日)

岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました(1月25日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です

## ◆2018年 第3週(1/15～1/21)の感染症発生動向(届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 第1週 5類感染症 梅毒 1名(20代 男)
- 第2週 2類感染症 結核 2名(70代 男 1名、90代 女 1名)  
4類感染症 つつが虫病 1名(60代 男)  
5類感染症 百日咳 2名(乳児 女 1名、中学生 男 1名)
- 第3週 2類感染症 結核 8名(乳児 女 1名、20代 男 2名・女 2名、60代 男 1名、  
70代 女 1名、90代 男 1名)  
5類感染症 アメーバ赤痢 1名(60代 男)  
梅毒 2名(30代 男 1名・女 1名)  
百日咳 2名(小学生 男 1名、中学生 男 1名)

### ■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点84、小児科定点54、眼科定点12、STD定点17、基幹定点5

- インフルエンザは、県全体で3,609名(定点あたり25.31 → 42.96人)の報告があり、前週より増加しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で348名(定点あたり5.50 → 6.44人)の報告があり、前週より増加しました。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で87名(定点あたり1.37 → 1.61人)の報告があり、前週より増加しました。

### 【第4週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が171施設でありました。(1月22日～25日)

1. **インフルエンザ**は、県全体で3,609名(定点あたり25.31 → 42.96人)の報告があり、前週より増加しました。岡山県は、12月7日に「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図ってきたところですが、県全体の定点あたり報告数が警報発令基準の30.00人を上まわり、今後も患者増加の可能性のあることから、1月25日に『**インフルエンザ警報**』を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。  
地域別では、倉敷市(57.75人)、真庭地域(51.33人)、備中地域(44.92人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など、詳しくは「**インフルエンザ週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2017/2018年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ警報」発令中!](#)』をご覧ください。
2. **感染性胃腸炎**は、県全体で348名(定点あたり5.50 → 6.44人)の報告があり、前週より増加しました。地域別では、岡山市(8.21人)、備前地域(7.40人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など詳しくは、「**感染性胃腸炎週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2017/2018年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で87名(定点あたり1.37 → 1.61人)の報告があり、2週連続で増加しました。過去10年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では、倉敷市(2.82人)、岡山市(2.57人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、突然の発熱と体のだるさ、のどの痛みで発症し、しばしばおう吐を伴います。また、口腔内に小点状出血あるいは莓舌(イチゴのように赤くブツブツしている舌)がみられることがあります。のどの痛みがひどい場合は、柔らかい薄味の食事など調理の工夫をし、こまめな水分補給を心がけてください。就学前から学童期の小児に多く、学校などで集団感染することもあります。患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗いを励行するなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		
突発性発疹		★	ヘルパンギーナ		★
流行性耳下腺炎		★	急性出血性結膜炎		★
流行性角結膜炎		★	細菌性髄膜炎		
無菌性髄膜炎			マイコプラズマ肺炎		
クラミジア肺炎			感染性胃腸炎(ロタウイルス)		

【記号の説明】 前週からの推移： ：大幅な増加    ：増加    ：ほぼ増減なし    ：大幅な減少    ：減少  
 大幅：前週比100%以上の増減    増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)

空白：発生なし    ★：わずか    ★★：少し    ★★★：やや多い    ★★★★：多い    ★★★★★：非常に多い

## インフルエンザ週報 2018年 第3週 (1月15日～1月21日)

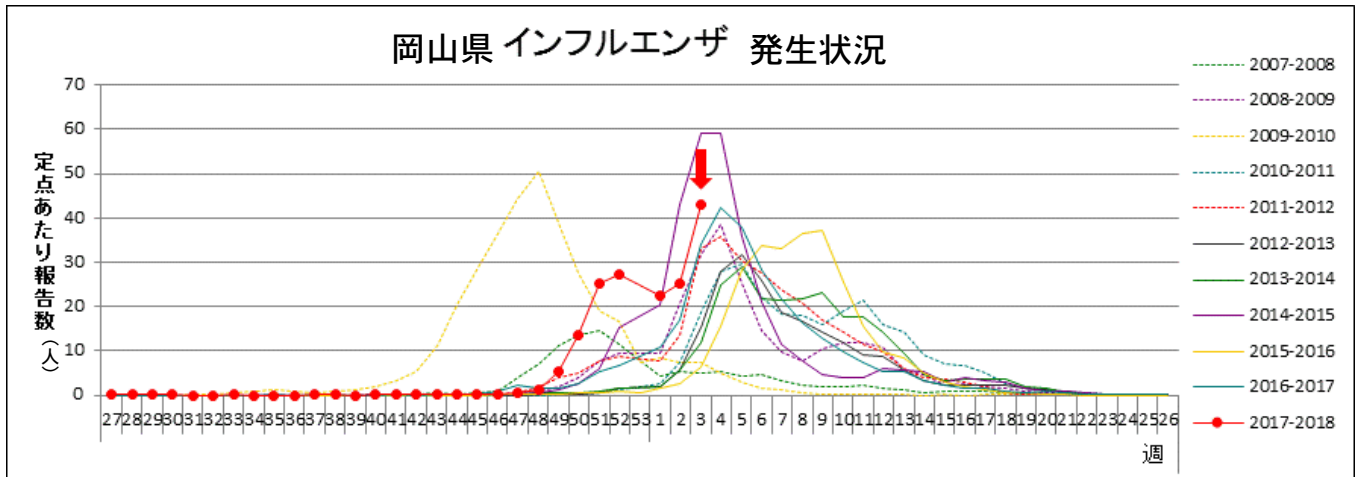
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました(1月25日)

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で3,609名(定点あたり42.96人)の報告がありました。(84定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が145施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者30名の報告がありました。

## 【第4週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が171施設でありました。(1月22日～25日)



インフルエンザは、県全体で3,609名(定点あたり25.31 → 42.96人)の報告があり、前週より増加しました。県全体の定点あたり報告数が警報発令基準の30.00人を上まわり、今後も患者増加の可能性があるので、岡山県は1月25日に『インフルエンザ警報』を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。

地域別では、倉敷市(57.75人)、真庭地域(51.33人)、備中地域(44.92人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての地域で患者数が増加し、急速に流行が拡大しています。新たに岡山市(42.32人)、備前地域(38.53人)、備北地域(31.83人)が発生レベル3となり、美作地域(29.20人：発生レベル2)を除く全ての地域で発生レベル3となりました。

学校等の臨時休業は、前週(3施設)より大きく増加し、第3週は145施設から報告がありました。また、第4週(1/22～)速報でも、すでに多くの施設から報告されているため、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校を中心とした集団の中での感染に注意してください。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

## ◆インフルエンザは流行が継続しています。 さらなる感染予防に努めましょう。

### 【 予 防 】

- \* 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- \* 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- \* 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- \* 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

### 【 かかったかな? という時には 】

- \* 早めに医療機関を受診しましょう。
- \* 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- \* 周りの人にうつさないように、『咳エチケット』を心がけましょう。

# 1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	3,609	▲	備 中	患者数	539	▲
	定点あたり	42.96			定点あたり	44.92	
岡山市	患者数	931	▲	備 北	患者数	191	▲
	定点あたり	42.32			定点あたり	31.83	
倉敷市	患者数	924	▲	真 庭	患者数	154	▲
	定点あたり	57.75			定点あたり	51.33	
備 前	患者数	578	▲	美 作	患者数	292	▲
	定点あたり	38.53			定点あたり	29.20	

【記号の説明】 前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ➡：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ▼：減少  
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

## インフルエンザ感染症マップ

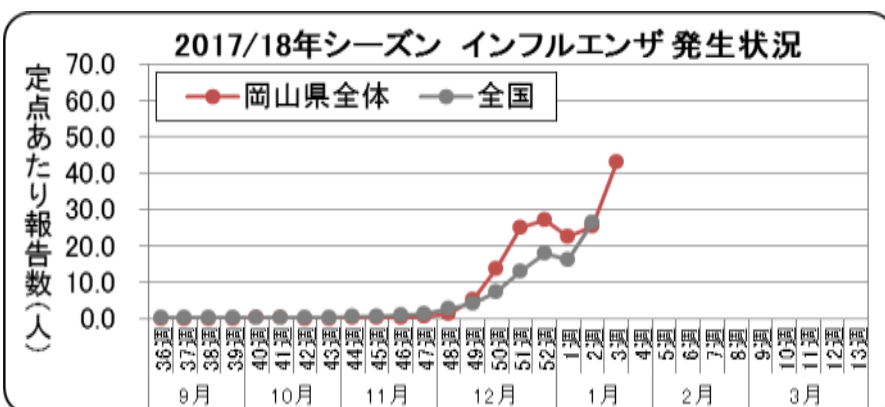
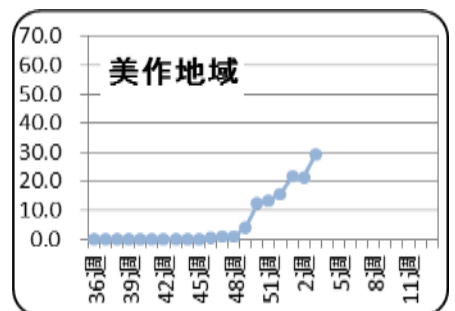
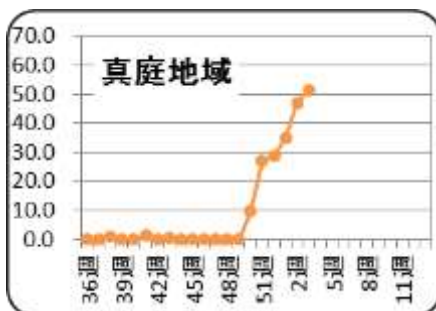
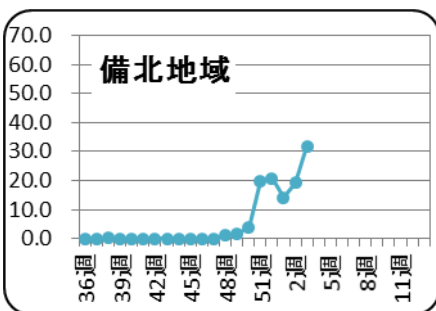
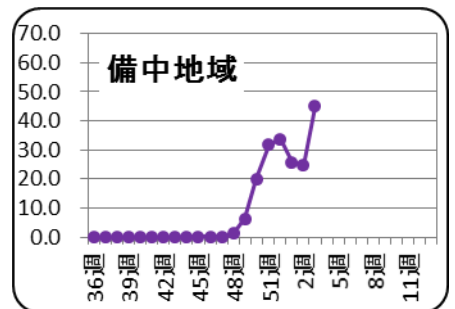
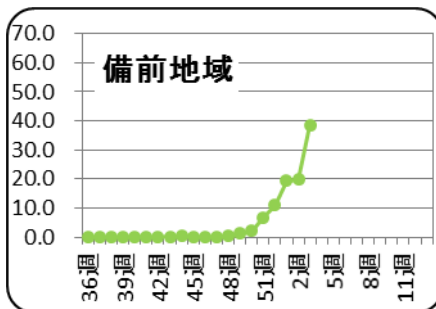
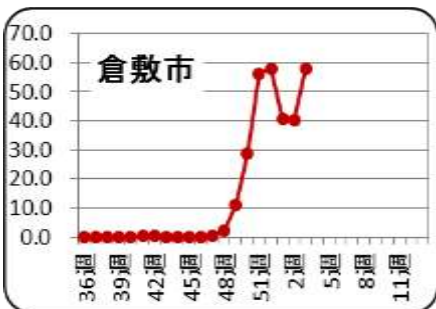
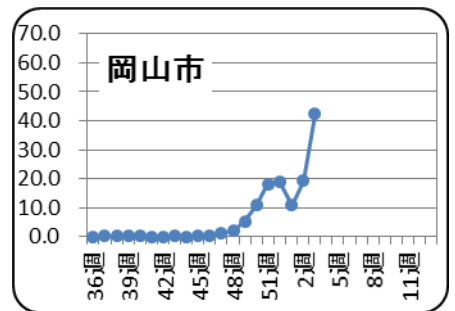


### <インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 < 10 未満	0



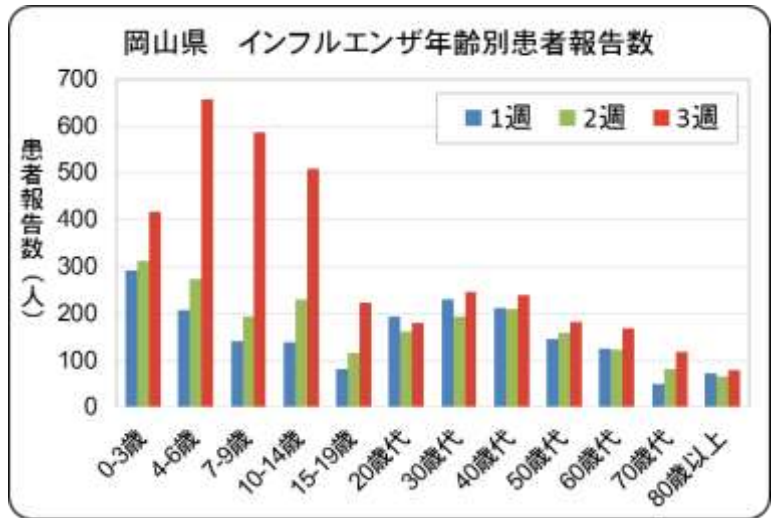
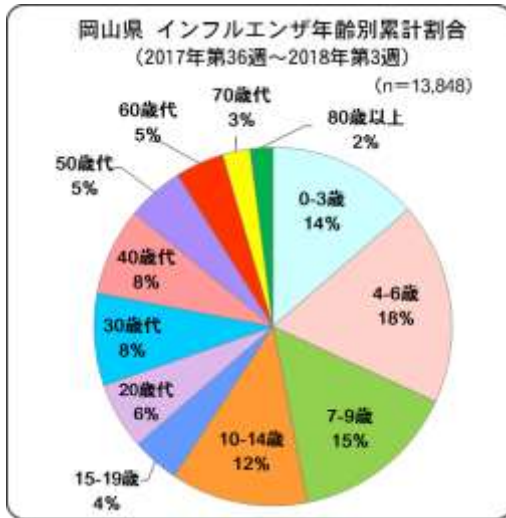
全国集計第2週（1/8～1/14）速報値によると、全国の定点あたり報告数は26.44人となり、前週（16.31人）より増加しました。都道府県別では、宮崎県（52.83人）、福岡県（41.58人）、大分県（41.21人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、全都道府県で前週の報告数よりも増加がみられました。

[インフルエンザの発生状況について](#)  
 （厚生労働省）



## 2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 18%、7-9歳 15%、0-3歳 14%の順で高くなっています。週別の患者報告数をみると、全ての年齢層で患者が増加しており、特に幼稚園・小学校・中学校を中心とした集団生活をしている年齢層で大きく増加しています。

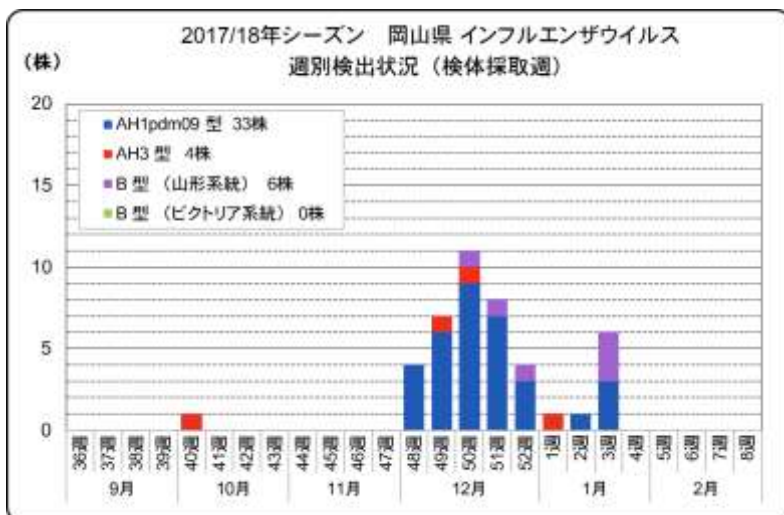


## 3. インフルエンザウイルス検出状況

第3週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、7株（詳細は下表参照）でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは43株で、その内訳は、AH1pdm09型 33株、AH3型 4株、B型（山形系統）6株となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 53%、AH3型 20%、B型 27%〔山形系統 25%・ビクトリア系統 1%・系統不明 1%〕となっています。（1月12日現在）

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/17	真庭	中学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/17	真庭	中学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/17	真庭	中学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスB型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/17	備北	高校生	女	山形系統 集団発生事例
インフルエンザウイルスB型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/17	備北	高校生	女	山形系統 集団発生事例
インフルエンザウイルスB型	2018年第3週(1/15～1/21)	2018/1/17	備北	高校生	男	山形系統 集団発生事例
インフルエンザウイルスB型	2017年第52週(12/25～12/31)	2017/12/26	倉敷市	50代	女	山形系統



#### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 145 施設でありました。

【第3週 臨時休業施設数】

▽岡山市	51	▽倉敷市	28	▽津山市	10	▽総社市	8	▽笠岡市	7
▽玉野市	6	▽浅口市	5	▽井原市	4	▽瀬戸内市	4	▽真庭市	4
▽備前市	3	▽吉備中央町	3	▽新見市	2	▽赤磐市	2	▽和気町	2
▽里庄町	2	▽矢掛町	2	▽高梁市	1	▽美咲町	1		



##### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1938	3973	1591	3222	145	259	2	6	35	59	108	194	H29.11.27
岡山市	821	1204	642	916	51	75	1	1	7	9	43	65	H29.11.27
倉敷市	313	1144	290	995	28	72	—	—	2	5	26	67	H29.11.27
備前地域	230	288	189	238	20	26	0	1	8	10	12	15	H29.12.13
備中地域	344	639	301	560	28	49	0	1	10	15	18	33	H29.12.5
備北地域	34	81	25	69	3	8	—	—	0	4	3	4	H29.12.4
真庭地域	46	81	41	72	4	6	—	—	2	4	2	2	H29.12.18
美作地域	150	536	103	372	11	23	1	3	6	12	4	8	H29.12.4

##### 2) 臨時休業施設数の内訳

第3週：145 施設

累計：259 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	14	29	91	174	28	41	11	14	1	1

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、30 名（1 歳未満 1 名、1-4 歳 4 名、5-9 歳 3 名、50-59 歳 4 名、60-69 歳 5 名、70-79 歳 4 名、80 歳以上 9 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第3週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	4	3						4	5	4	9	30
ICU入室*										1		1	2
人工呼吸器の利用*												1	1
頭部CT検査(予定含)*			1									2	3
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*		1											1
いずれにも該当せず	1	3	2						4	4	4	6	24

\* 重複あり

【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

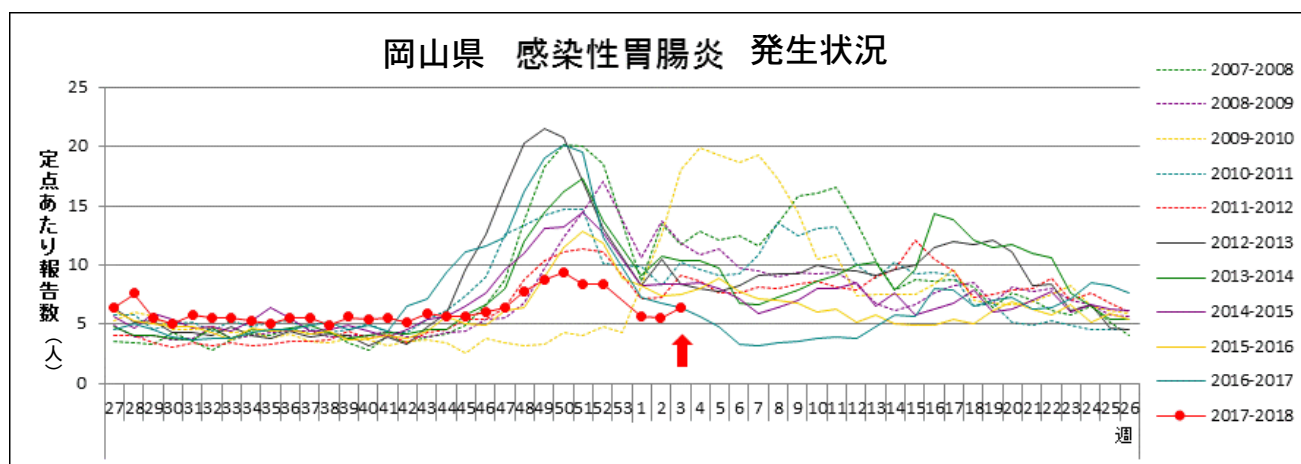
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	13	16	9	1	3		1	5	8	22	22	31	131
ICU入室*		1								3	4	2	10
人工呼吸器の利用*												1	1
頭部CT検査(予定含)*	1	3	1				1			3	1	7	17
頭部MRI検査(予定含)*	1	3	1				1			2		1	9
脳波検査(予定含)*		4											4
いずれにも該当せず	11	10	7	1	3			5	8	17	18	23	103

\* 重複あり

## 感染性胃腸炎週報 2018年 第3週 (1月15日～1月21日)

### ➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で348名(定点あたり6.44人)の報告がありました。(54定点医療機関報告)

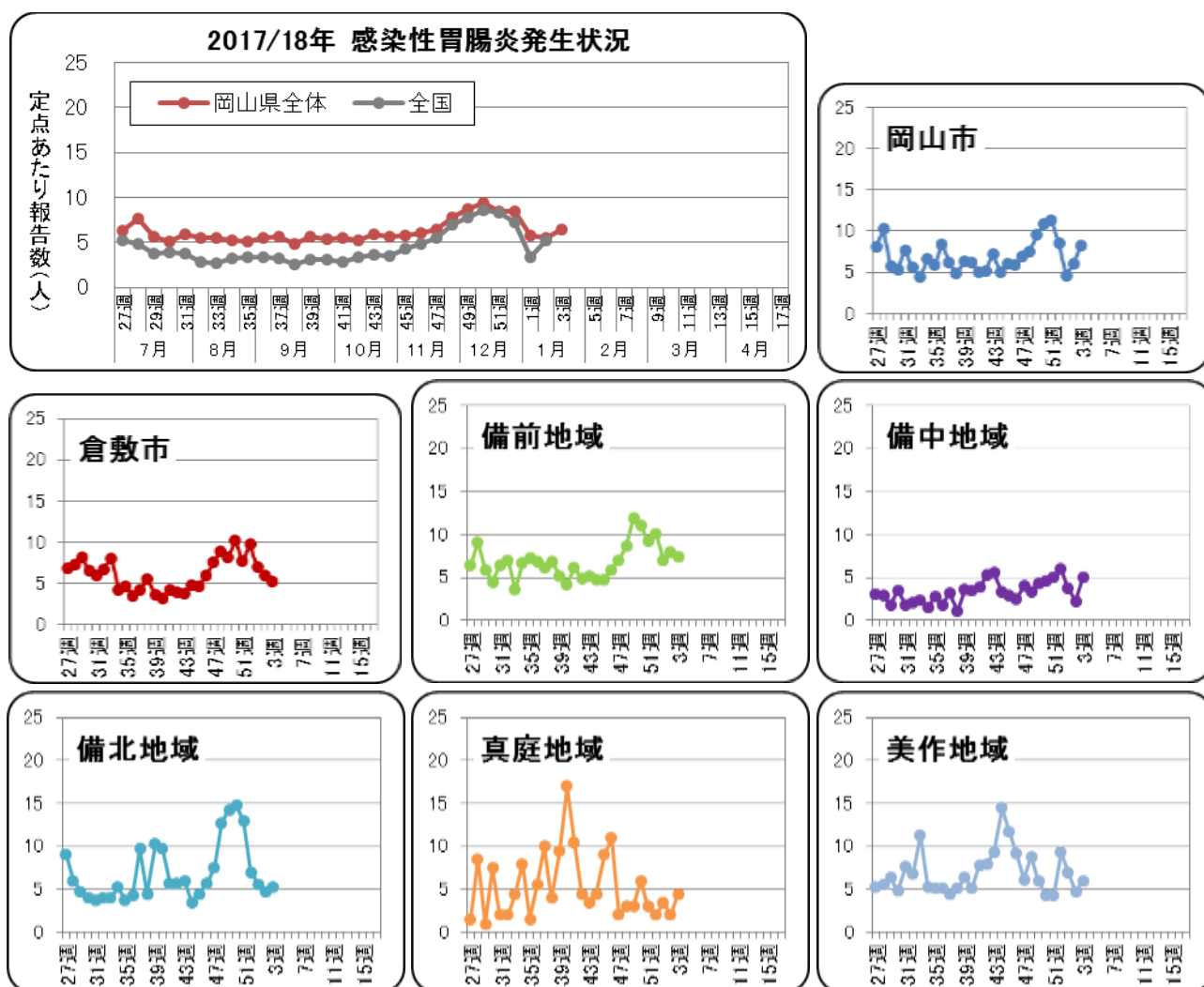


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週で、グラフを作成しています。

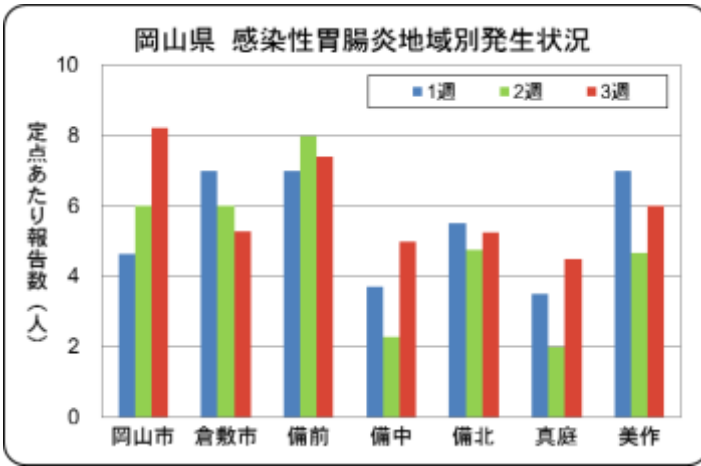
感染性胃腸炎は、県全体で348名(定点あたり5.50→6.44人)の報告があり、前週より増加しました。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。また、小さなお子さんや高齢の方は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

### ◆地域別・年齢別発生状況

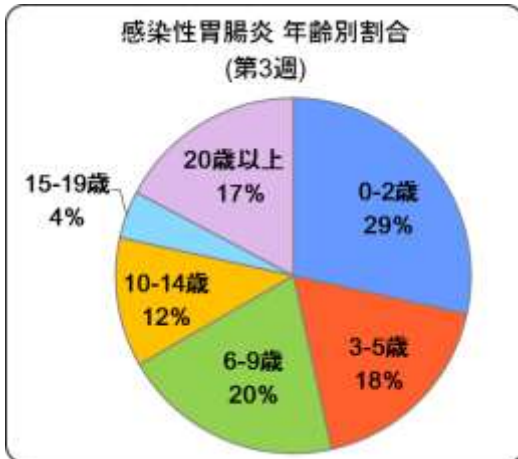






レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、岡山市（8.21人）、備前地域（7.40人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、倉敷市と備前地域を除く全ての地域で患者の増加がみられました。

第3週年齢別割合では、0-2歳 29%、6-9歳 20%、3-5歳 18%の順で高くなっています。

## ◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

### 予 防 方 法

#### 1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

#### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。

拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

#### 3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水洗濯が**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いした後、熱水が利用可能である洗濯機があれば熱水洗濯、または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

#### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。

[○ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）](#)

[○ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所）](#)

[○ノロウイルス食中毒予防対策リーフレット（厚生労働省）](#)

[○ノロウイルス食中毒予防のための適切な手洗い（動画）（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数 2018年 3週(定点把握)

( 2018/01/15~2018/01/21 )

2018年1月25日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	3609	42.96	931	42.32	924	57.75	578	38.53	539	44.92	191	31.83	154	51.33	292	29.20
RSウイルス感染症	13	0.24	2	0.14	2	0.18	2	0.20	3	0.43	-	-	-	-	4	0.67
咽頭結膜熱	13	0.24	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	2	0.50	1	0.50	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	1.61	36	2.57	31	2.82	6	0.60	4	0.57	1	0.25	1	0.50	8	1.33
感染性胃腸炎	348	6.44	115	8.21	58	5.27	74	7.40	35	5.00	21	5.25	9	4.50	36	6.00
水痘	6	0.11	3	0.21	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	12	0.22	6	0.43	2	0.18	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	12	0.22	7	0.50	2	0.18	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2018年 3週(発生レベル設定疾患)

( 2018/01/15～2018/01/21 )

2018年1月25日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	3609	42.96	931	42.32	924	57.75	578	38.53	539	44.92	191	31.83	154	51.33	292	29.20
咽頭結膜熱	13	0.24	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	2	0.50	1	0.50	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	1.61	36	2.57	31	2.82	6	0.60	4	0.57	1	0.25	1	0.50	8	1.33
感染性胃腸炎	348	6.44	115	8.21	58	5.27	74	7.40	35	5.00	21	5.25	9	4.50	36	6.00
水痘	6	0.11	3	0.21	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	12	0.22	6	0.43	2	0.18	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.06	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3  
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2018年 第3週 2018/01/15~2018/01/21 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	3609	13	43	96	121	145	198	191	269	221	184	181	510	223	180	247	239	182	169	118	79

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	13	1	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	13	-	-	6	1	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	-	-	5	6	6	11	9	15	8	7	4	11	1	4
感染性胃腸炎	348	1	14	47	37	22	24	17	17	18	17	18	41	15	60
水痘	6	-	-	-	2	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-
手足口病	12	-	-	5	1	1	2	2	-	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	12	-	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-

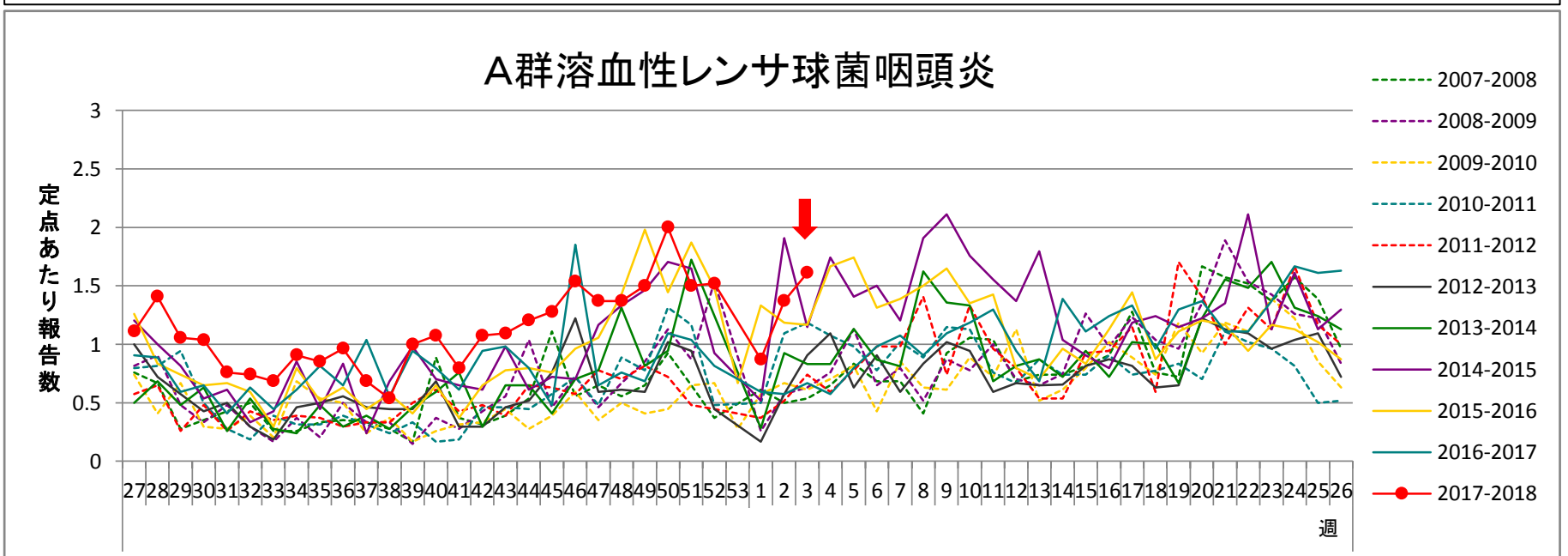
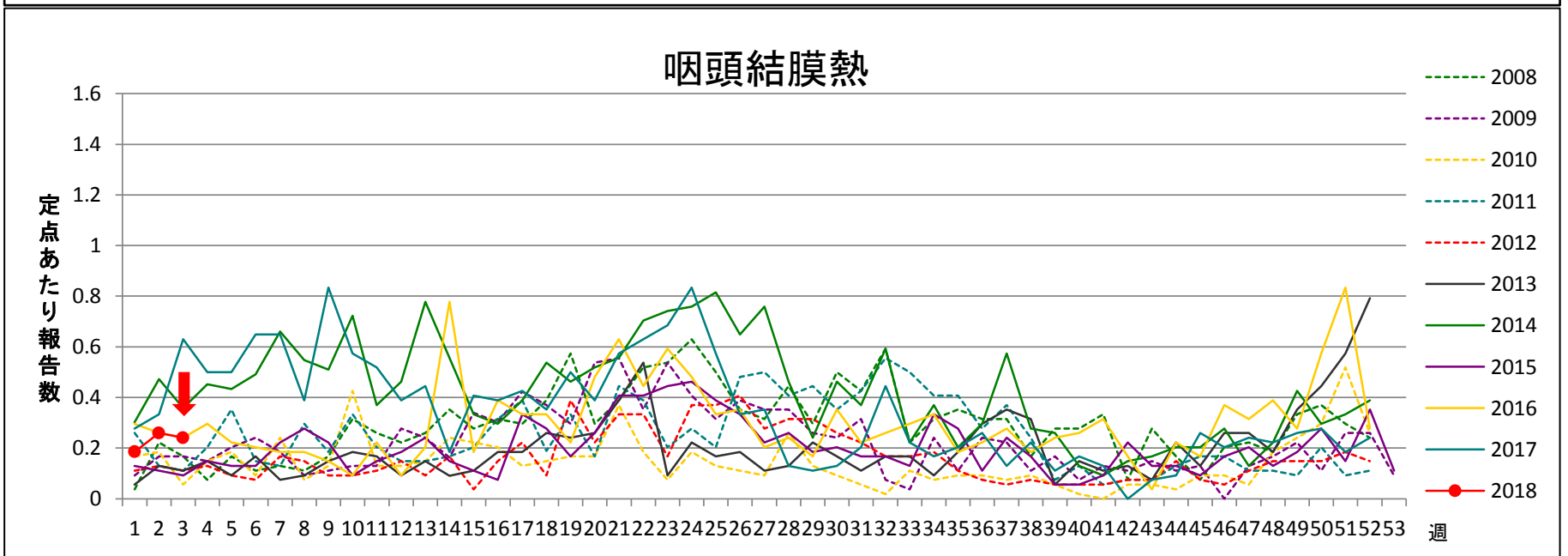
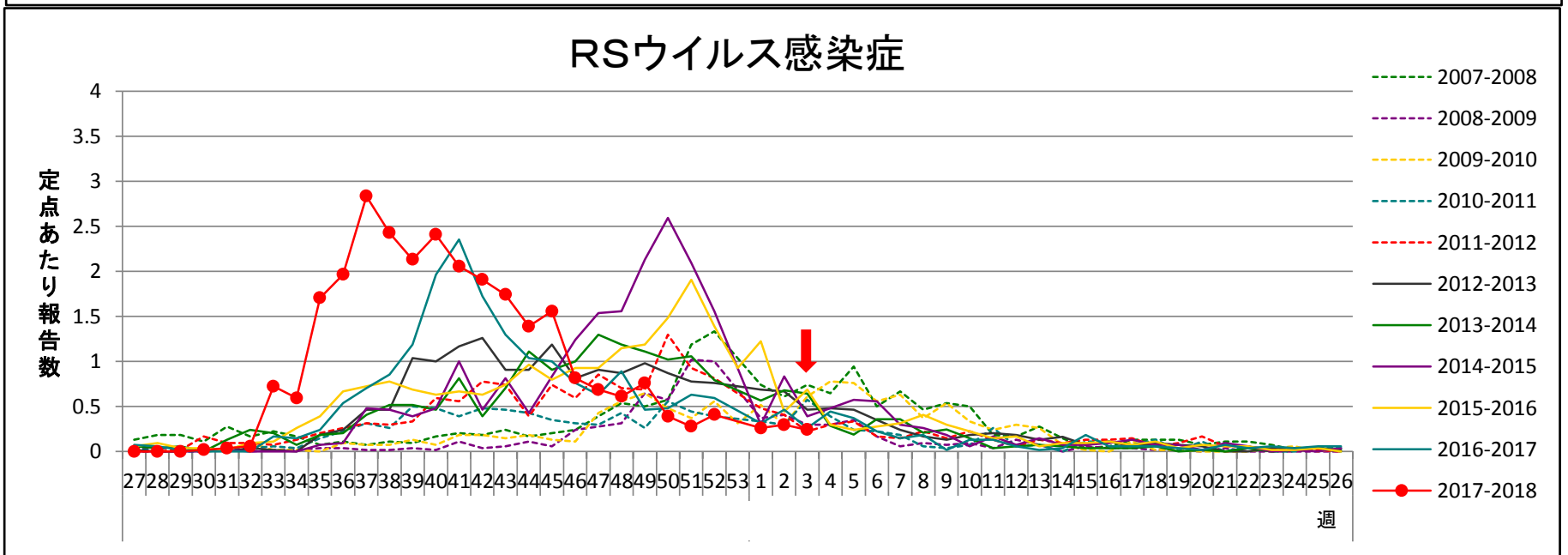
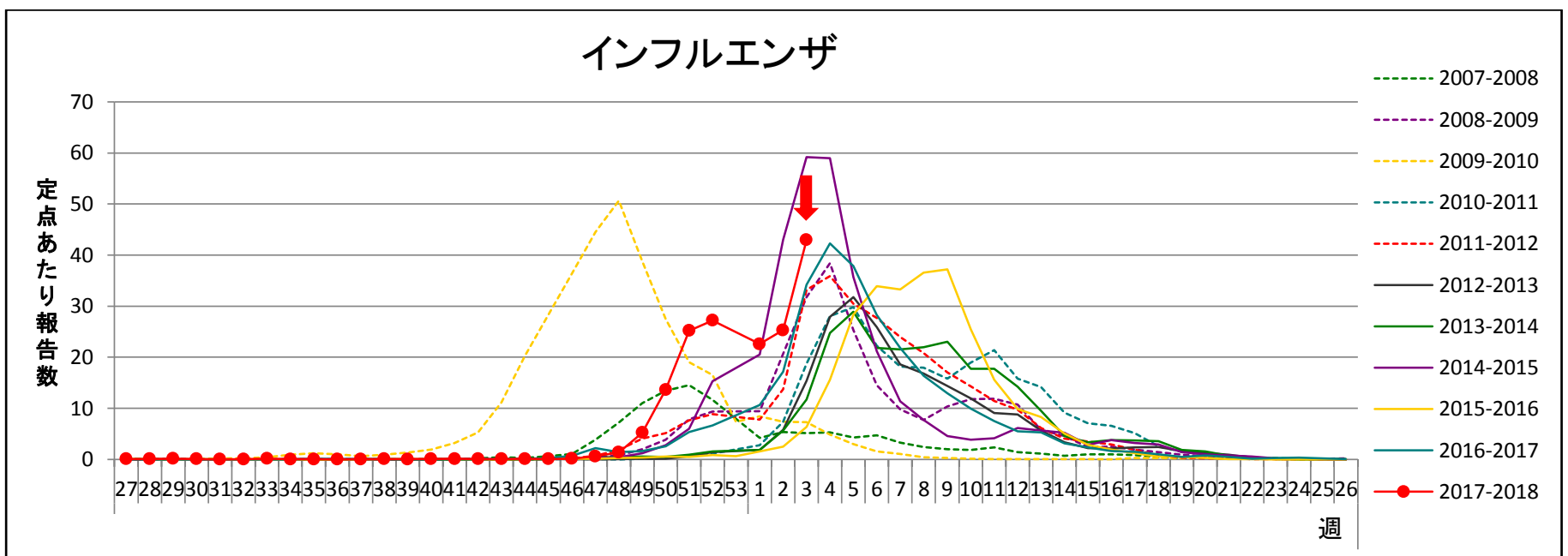
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

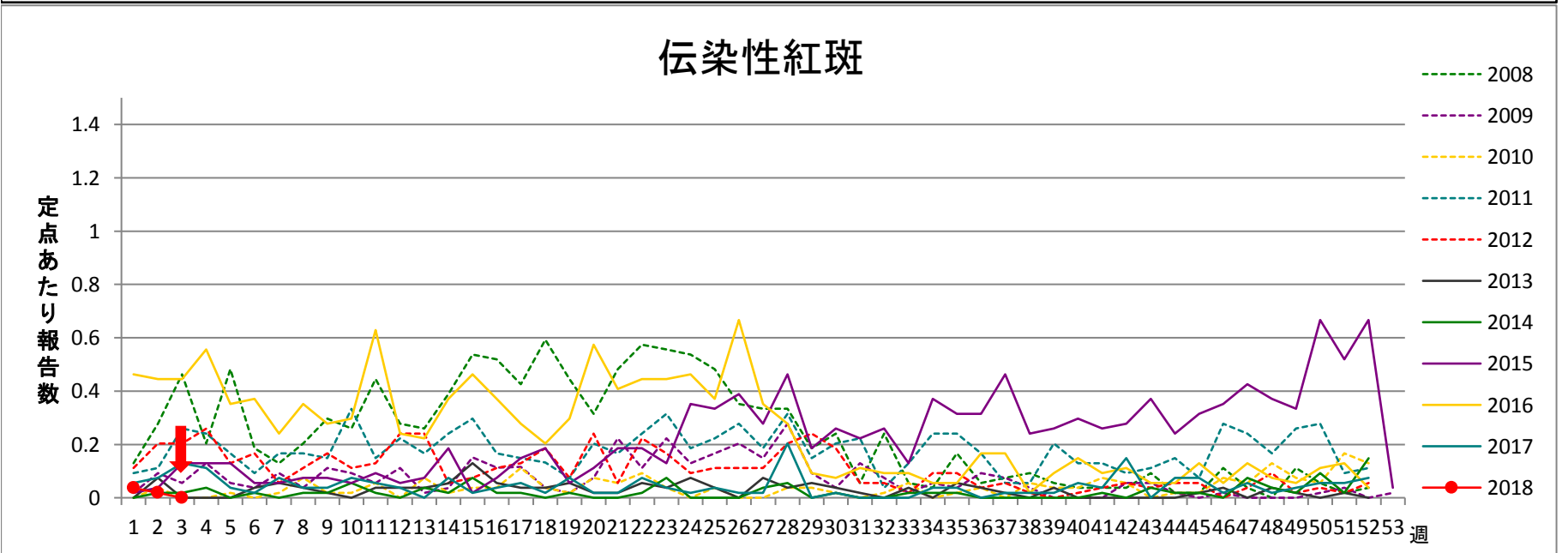
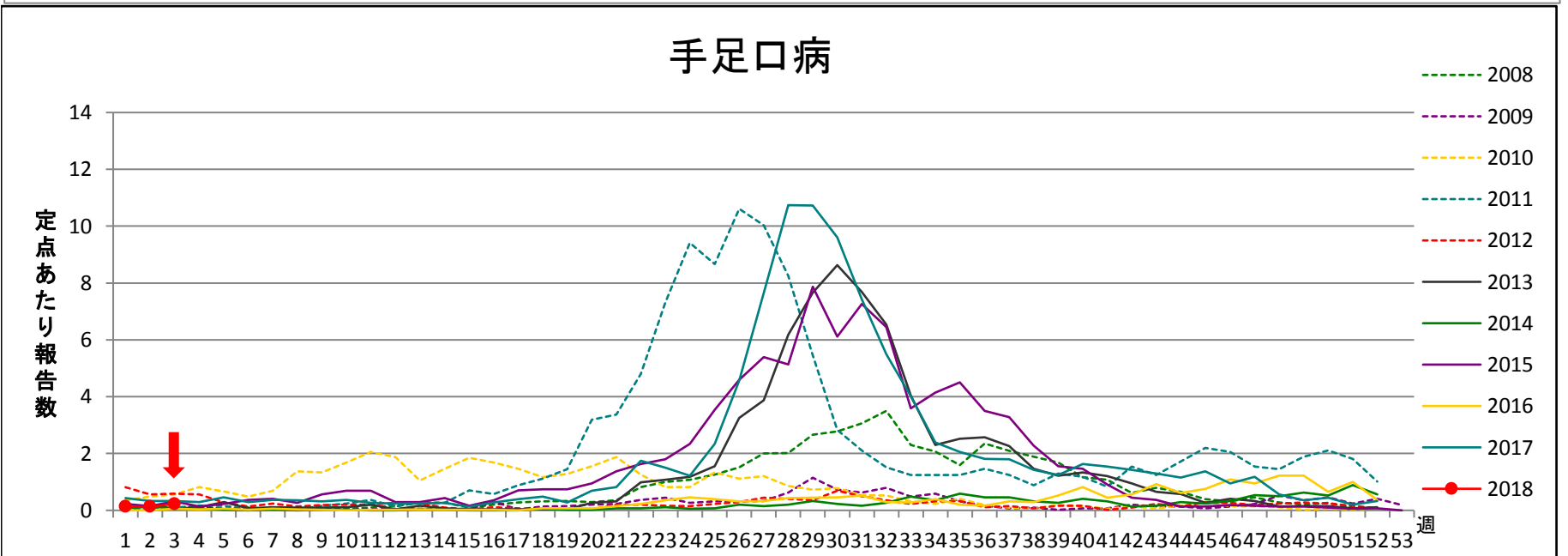
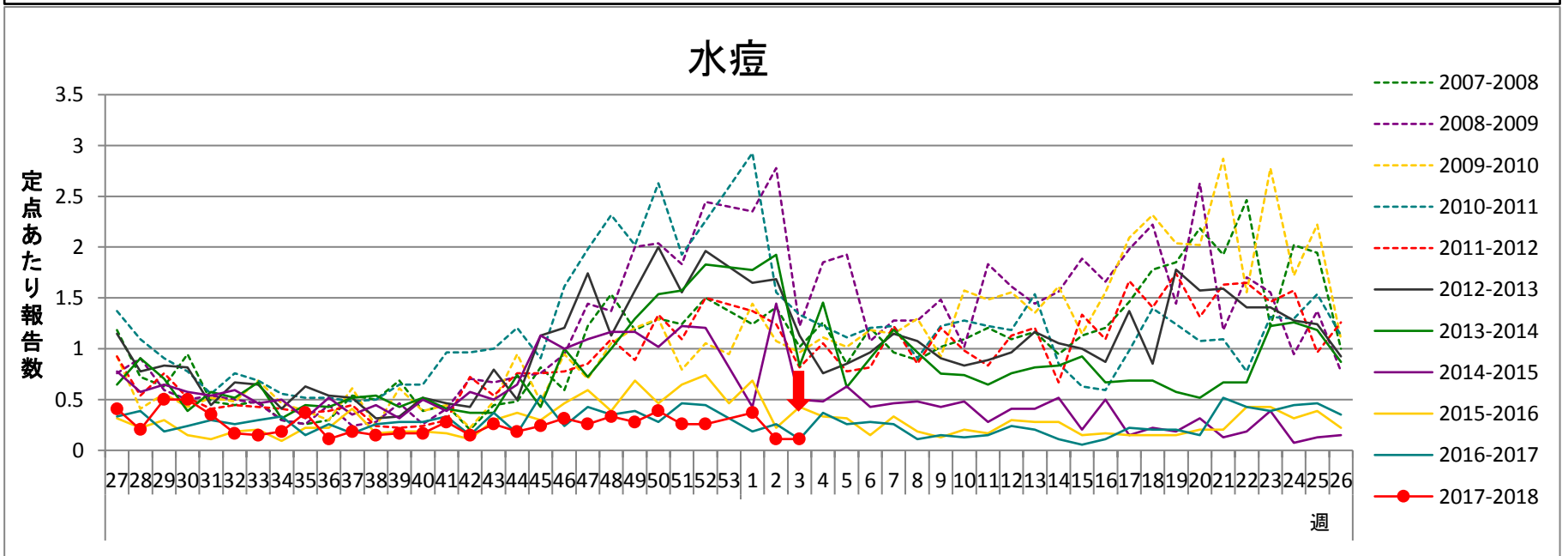
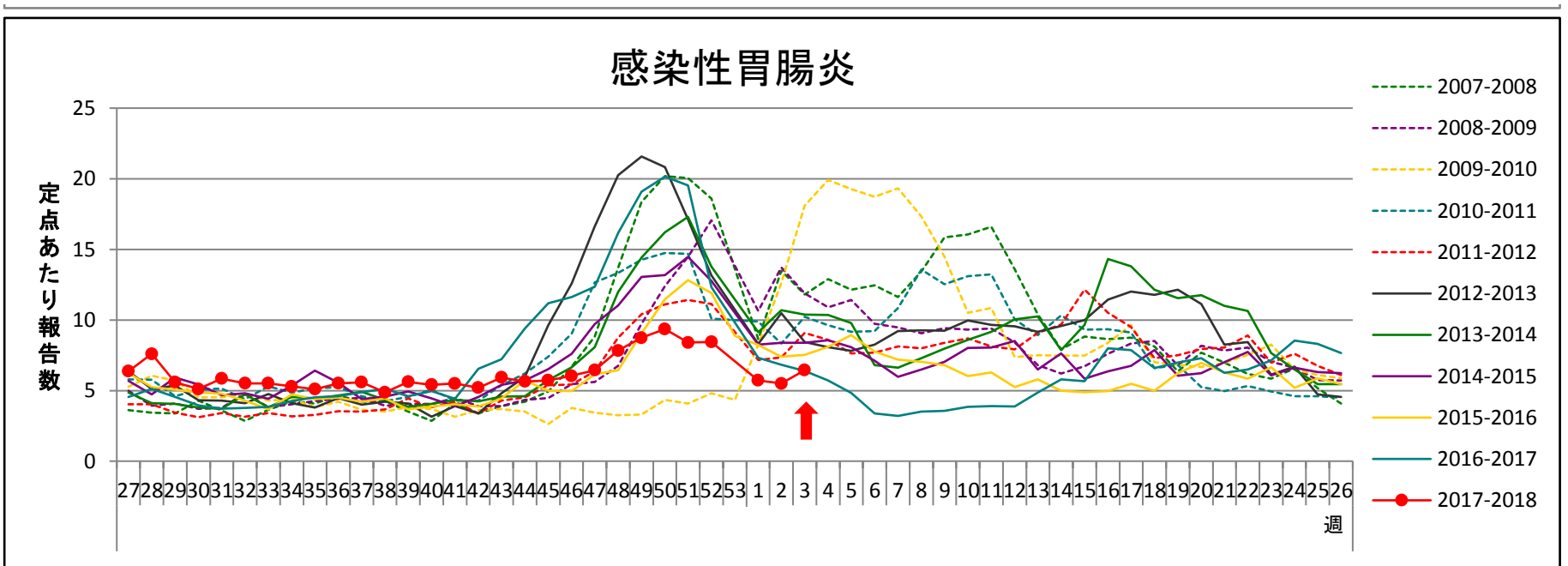
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

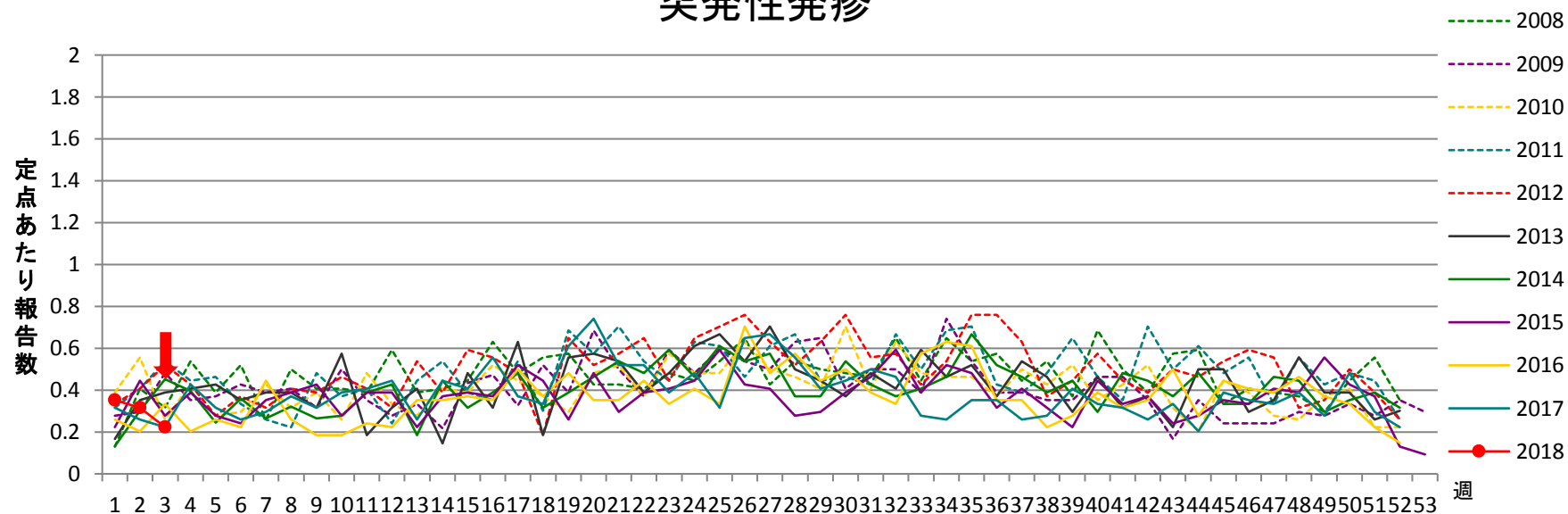




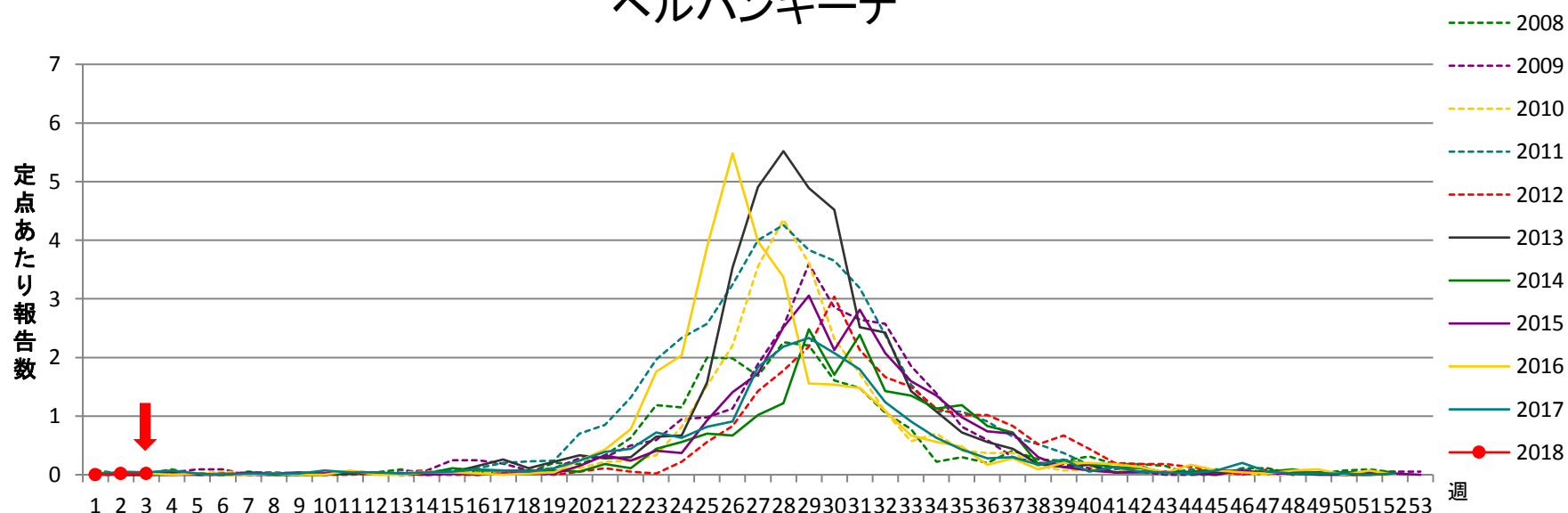




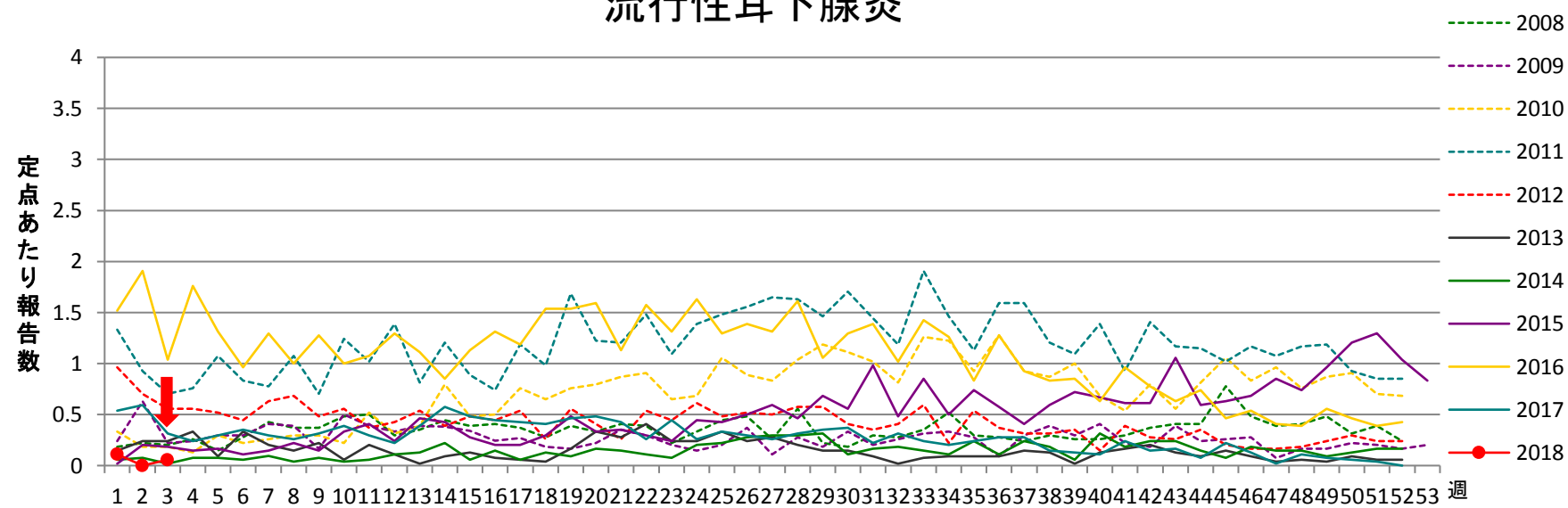
### 突発性発疹



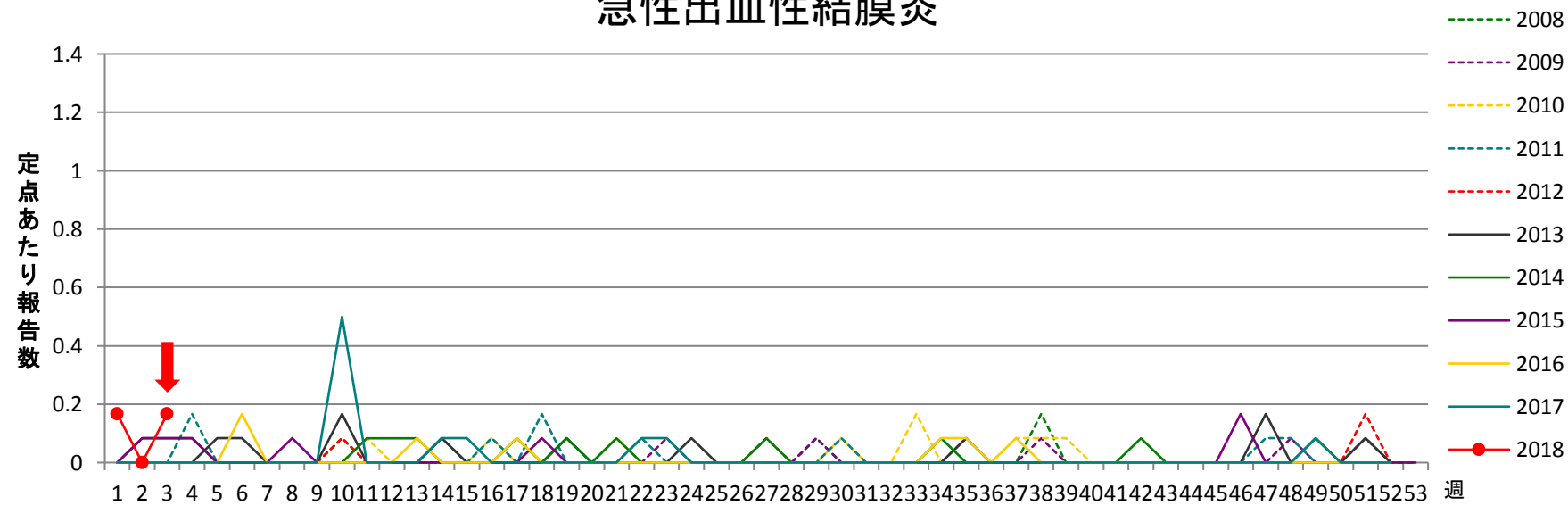
### ヘルパンギーナ



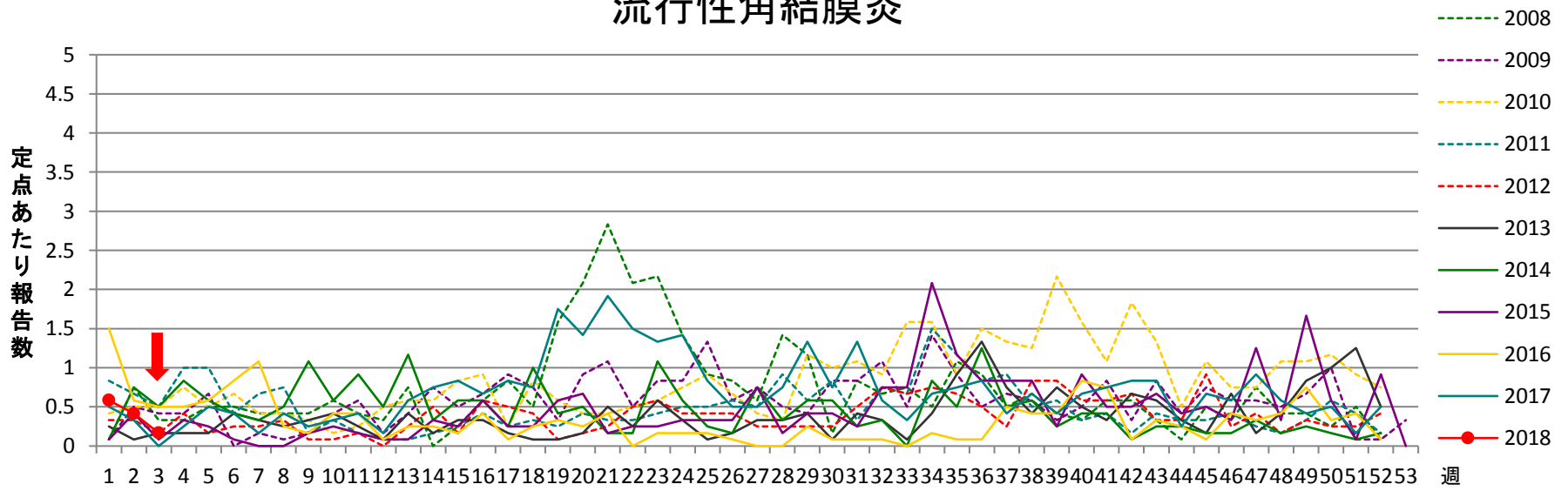
### 流行性耳下腺炎



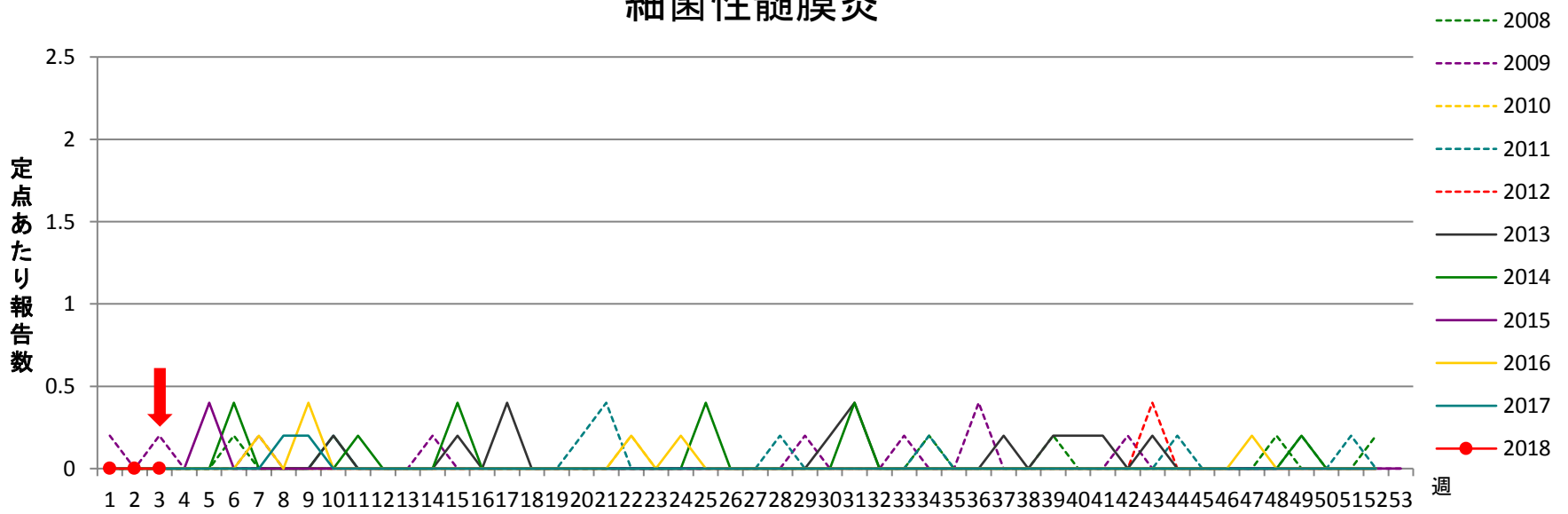
### 急性出血性結膜炎



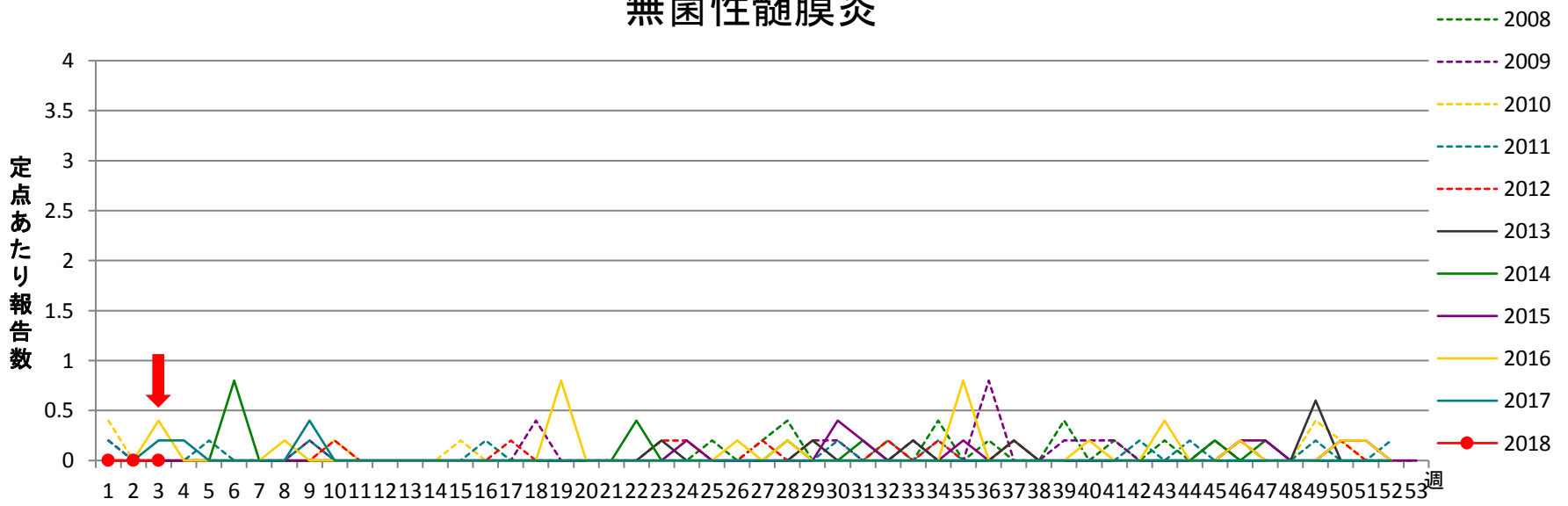
### 流行性角結膜炎



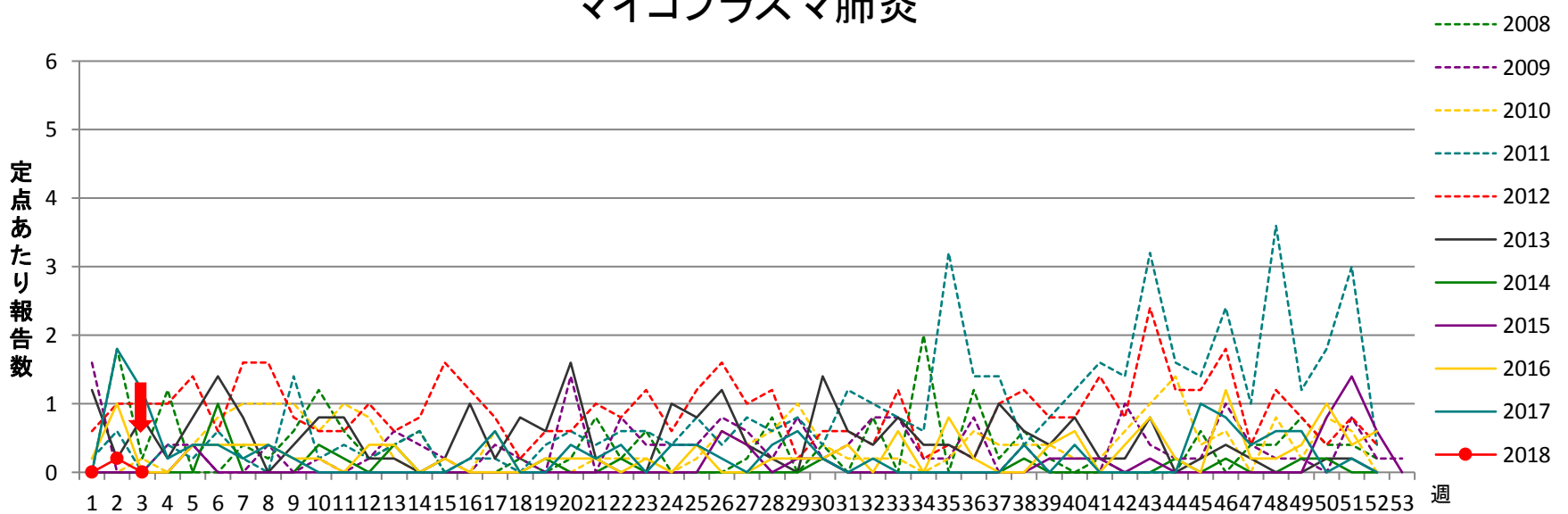
### 細菌性髄膜炎



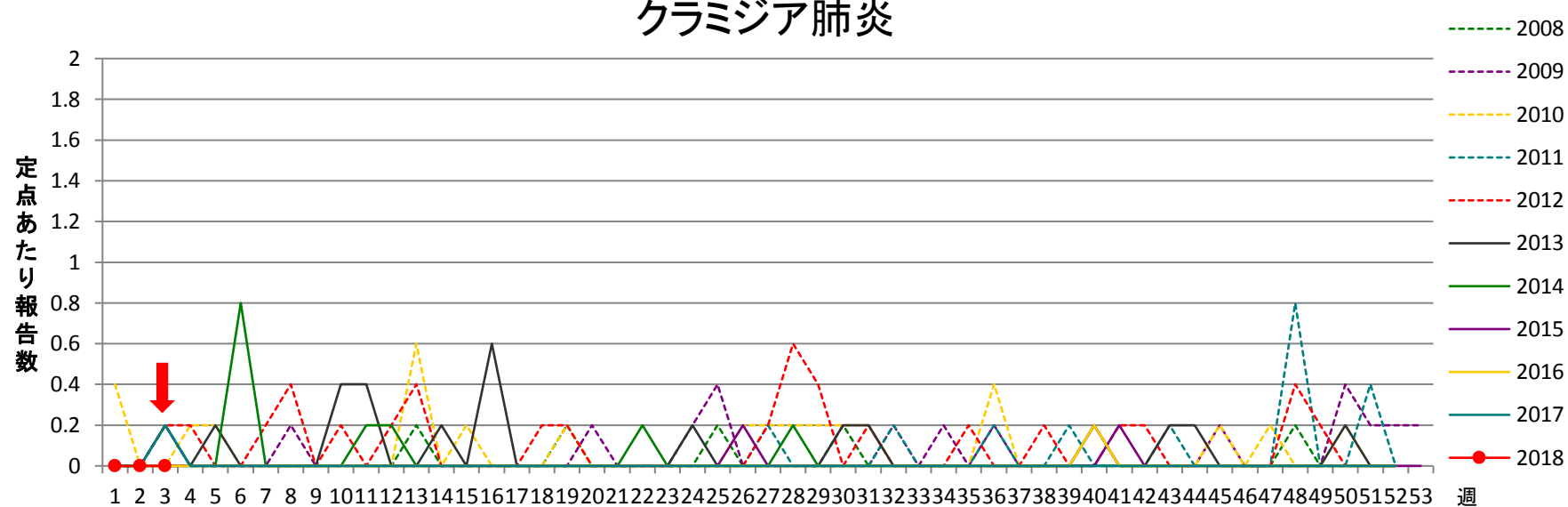
### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎



### 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

